Taishoku gojo kaihou

退職互助会報

●令和６年７月25日発行●　No.144

編集・発行　一般財団法人岡山県教育職員互助組合（退職互助）
岡山市北区内山下2丁目4番6号
岡山県教育庁福利課内
直通☎（086）226－7610
互助組合ホームページアドレス
（URL）https://www.okayamafukurinet.jp



４年程前に、香川県三豊市の紫雲出山（しうでやま）へ桜見物に行った。その帰りに、同市の父母ヶ浜（ちちぶがはま）に、夕日の撮影で、立ち寄った。450㎜の望遠レンズで太陽の存在感を出し、人物は、シルエットにした。当日は、晴天で、しかも日の入りと干潮時刻が重なり、三拍子そろった幸運に恵まれた。お陰で、心に残る１枚を撮影できた。

第 48 回教職員美術展より
「落日」(写真)
退職互助特別会員／内田　敏範

おもな内容

Contents

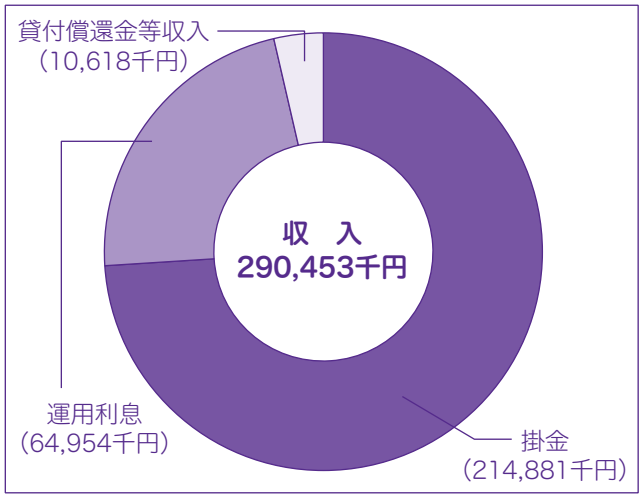
・退職互助事業決算及び予算概要
・支部だより
・私の健康法／私の趣味
・学校の想い出
・教職員美術展開催及び作品募集要項
・療養補助金Q&A
・療養補助金請求書提出時期のお願い
・訃報
・事務局だより
・編集後記

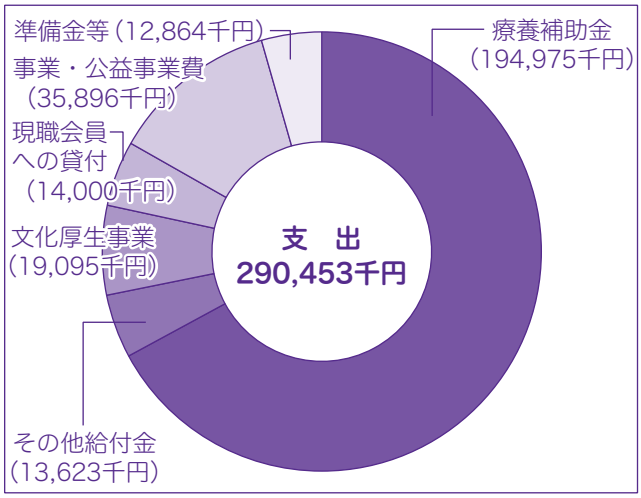
令和５年度 退職互助事業 決算概要

令和５年度の決算概要についてお知らせします。

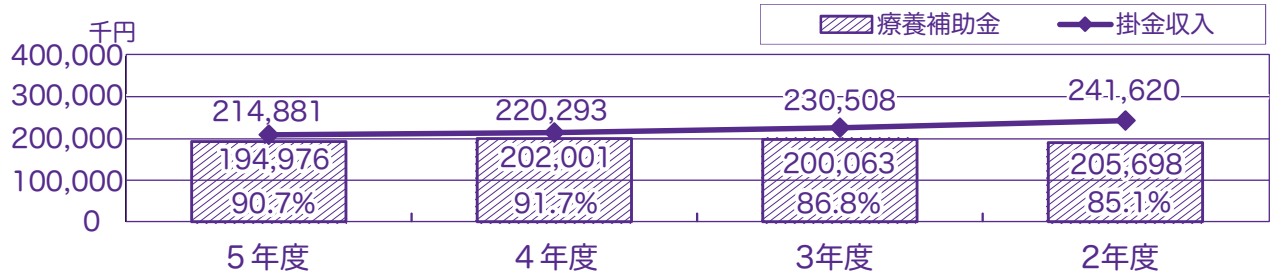
会員数	令和５年度末	現職会員	8,193人	退職会員	15,209人

収入と支出の状況



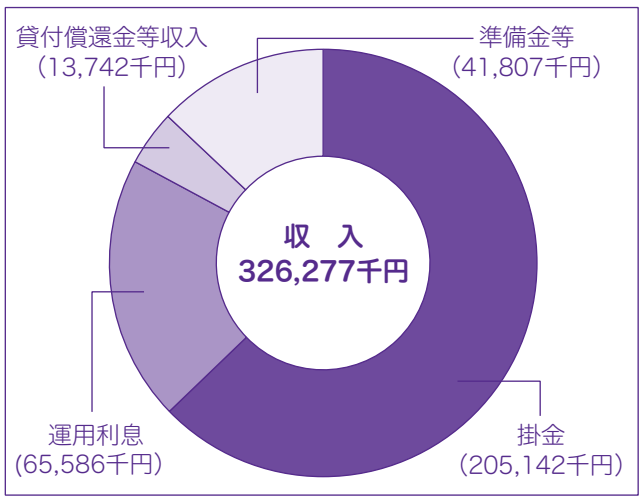


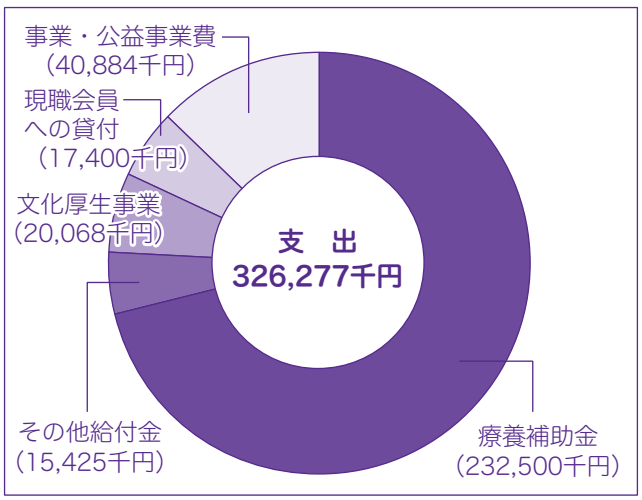
掛金に対する療養補助金の割合



令和６年度 退職互助事業 予算概要

令和６年度の予算概要についてお知らせします。





支　部　だ　よ　り

倉敷児島支部

令和６年度の倉敷・児島支部は４名が新会員に加わり会員364名でスタートしました。顧問１名・支部長１名・副支部長４名・常任幹事１名・幹事3名・会計監査２名の12名の役員で、支部の運営等について協議しながら事業を実施していく予定です。以下令和5年度の活動を紹介させていただきます。

○研修旅行

・春の研修・親睦旅行（令和5年6月10日）
日本を代表する硫化鉄鉱産出鉱山跡の「柵原ふれあい鉱山公園」を見学しました。25名が参加しました。当時の様子を再現した館内をガイドさんの詳しい説明を聞きながら研修しました。その後、湯郷温泉で昼食をとり、現代玩具館・オルゴール夢館を見学し帰路につきました。

・秋の研修・親睦旅行（令和５年11月11日）
錦秋の小豆島へ30名で出かけました。紅葉し始めの山並みと名勝「寒霞渓」の渓谷美を堪能しました。山頂から望む絶景の瀬戸内海の美しさに参加者全員が感動していました。



その後、道の駅「オリーブ公園」での散策や買い物を楽しみました。

○講演会（令和６年１月24日）

演　題「あしたも晴天！　人生レシピ」

講　師　人生設計アドバイザー　三宅　節也　先生

これからの人生を自由に自分らしく生きようというお話を拝聴しました。

今まで以上に前向きに考え、新たなことに挑戦していきたいという思いをもつことができました。一人ひとりが今後の人生を考えるよいきっかけになったと思います。

（倉敷児島支部　有田　博彦）

苫田支部

苫田支部は、令和6年度現在170名の会員が所属しています。例年、「総会・懇親会」「研修旅行」「史跡めぐり」を主な行事として活動していますが、令和2年度よりコロナ禍のため活動中止を余儀なくされてきました。しかし、令和5年度は無事に開催でき、会員相互の交流や自己研鑽を図ることができました。その主な活動を紹介します。

○総会・懇親会

6月に4年ぶりの総会で支部の取り組みや会の情報交換をしました。出席者の顔ぶれが年々固定化されてきたように感じますが、久しぶりの再会に会員の笑顔を多く見ることができました。その後の懇親会では、和やかな日々の暮らしぶりや趣味などの話題に花が咲き、互いの健康安全を確認し旧交を温めることができました。



○研修旅行

支部の大きな行事として近隣への研修旅行を実施しています。今回は、10月に高知市にある「牧野植物園」を訪れました。NHKの『らんまん』で脚光を浴びた直後でしたので多くの見学者にびっくりしましたが、管理された広い園内をガイド付きで植物への見聞を広めることができました。牧野富太郎博士の業績をきちんと残し様々な植物に名前や解説が付けられている凄さにびっくりです。スエコザサやヤマトグサなど朝ドラで話題となった植物の紹介では携帯カメラの行列ができたほどでした。途中、思わぬ雷鳴や雹と大雨に遭遇しましたが、親睦を深めつつ充実した研修旅行を行うことができました。

○史跡めぐり研修

歴史に詳しい会員を講師に県内各地の主な史跡を訪れていますが、11月に田原井堰や倉安川吉井水門のほか万富東大寺瓦窯跡や熊山遺跡他など吉井川下流域の歴史探訪を行いました。先人の知恵や暮らしぶりを学ぶことができ、有意義な研修をすることができました。

（苫田支部　　池田　晃）

私の健康法

「ペタンクと私」



岡山高行東支部
毛利　鏡子

私は、高等学校保健体育の教師を勤めました。

昭和40年代に県教育行政に携わっていた時「県民が心身共に明るく健康な日常生活を営むことができるレクレーション活動」の普及事業に取り組みました。その頃日本に上陸したペタンク（発祥地仏国）に出合い即刻ニュースポーツとして普及を始めました。

早晩私自身がその魅力に填まり、ペタンクが私の「生涯スポーツ」となり、余暇を楽しみました。

ペタンクは、直径３㎝の目標球に直径７㎝前後の金属製球を１チーム３人で投げ合い、相手より近づけることで得点を競うスポーツで少しの空地があればいつでも誰でも気軽に楽しめます。

ルールは至って簡単ですが、プレーをするうえで、仲間と相互信頼協力した頭脳プレーと自身の技能にかける集中力が養われます。また、穏やかな身体活動の知的で粋なフィジカルレクリエーション活動で、地域の仲間や職場、団体の交流には最適な種目です。

私は、余暇さえあれば和やかにふれ合う練習会交流会や競技力を競う大会に参加します。そこへ行くと、退職後の健康管理や趣味を広げたい人、他と出会いふれ合いたい人、気軽にスポーツを楽しみたい人、ペタンク競技を知りたい人、リハビリをしたい人達がそれぞれ目的を持って集まりペタンクを楽しんでおられます。私はここで鋭気を養っています。

私は、健康の秘訣は自発的に社会との繋がりを持って、先ずは自分がやりたいことを見つけ精一杯楽しむこと、それも世代を越えた方々と交流する、そして歳を重ねても常にチャレンジ精神を忘れず勇気を出して自己表現する等積極的に生きることを学びました。

私のペタンク歴は40年になり、退職後は毎夏渡仏して本場のダイナミックなペタンク競技を10数年間体験し、余暇を満喫しました。平素は近隣の友人や遠方の方と集い、一時を普段の生活から離れて、無我夢中になって楽しんだ後の清々しさが明日への元気の源になっています。

私は、米寿を迎えますが、ペタンクのお陰と感謝し、この先続く限りお陰を得て、健康寿命が更に伸びれば望外の幸せと感じています。

私の趣味

70才の新入生



高梁西支部
雛元　豊美

昨年４月、京都市にあるお花の研修学院に入学し、70才、古希の新入生となりました。とても頼りになる所属支部の友人と、2年で20日間受講するコースへの挑戦です。クラスは16名。九州から東北まで、年令もさまざまで、全国各地から花好きが集まっています。なにぶん初めてのことで、不安だらけのスタートでしたが、午前中講義、午後は実技の日程にも慣れていき、一年次のカリキュラムが無事終わったところです。クラスの皆さんとも親しくなり、入学式のあの不安はすっかり消え、思い切って入学したことにとても喜びを感じています。

個性豊かな教授陣の高いレベルの講義は、理解が追いつかないこともありますが、毎回ワクワクしながらペンを走らせています。実技指導の時、どう言われるかドキドキで、ほんの一言でもほめ言葉があると心の中でガッツポーズ。先生のほめ言葉は次への意欲を引き出す魔法と、今さらながら実感しています。

学生時代に始めたお花は、途中二度長く休みましたが、30年余りになります。命あるお花と向き合い、一番美しい姿を求めて花鋏を入れる静かな集中は心地よく、大切な時間となっています。退職後は、支部の先生方とも交流することが多く、花への情熱、高い志、地域貢献等たくさんのことを学ばせてもらっています。

学校でのお花の出前授業や、花展会場で行う一般の方対象の生け花体験をしていただくと、皆さん笑顔、笑顔で、改めて花の力を感じます。

昨年、長年お世話になった先生が亡くなられ、弟子三人で仏花を手向けました。とても貴重な体験で、先生が学院への入学を後押ししてくださったように思います。

周囲への感謝を忘れずに、お花を生けることの幸せをかみしめながら、これからも自分のペースで続けていきたいと思います。

学 校 の 想 い 出

「パース日本人学校(JSP)」

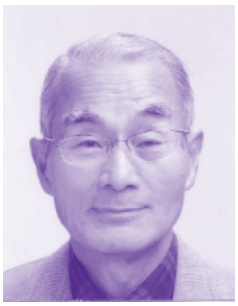


岡山南幼・小支部
春日　二郎

30年の中学校勤務後、校長としてパース日本人学校（JSP）で３年。赴任当時西豪州は教育改革の真っ只中。現地校は５歳からの7-4-2 に学制改編。早生まれの区切りの変更もあり、高校は慢性的に校舎が不足。廃校となった高校の片隅にいたJSPは､高校復活を受け､移転を迫られていました。

現地小学校は児童数減少、公立離れ、教員の力不足等の課題解決を「独立公立学校」移行に賭け、経理・人事等に全権を得た校長が、収益を上げ教員・施設の質の向上を図るのでした。彼らが負う膨大な事務作業の山は、西豪州の私立学校JSPも同様。教員登録は総領事館に助けられ、日本国学習指導要領と西豪州学習カリキュラムの整合性は対照表で証明し、それらの書類に学校ポリシー（危機管理、健康安全等）等を含めた「学校申請」と「国家品質基準」の到達評価・報告は、オンラインで州教育省へ直接提出（教育委員会組織無し）。苦労は温かな日本人コミュニティに救われましたが、英語圏なので、多くの子どもは現地校へ。JSPは経営困難に。教員不足で私も小中理科を担当しましたが、中学校数学派遣教員に担当させた算数専科はすぐ見直しました。日本からの派遣教員、日本での経験豊富なベテラン現地採用教員が学級担任として、朝・昼、休憩時間も放課後も、膨大な時間とエネルギーを費やして、子どもたちに国語・算数、そして生活の基礎を定着させていました（日本国内同様）。また、JSP全学年対象ネイティブ英語では英文法を日本語で行いました。「母語（思考のための言語）教育」に力を入れ、現地校に通う10歳に満たない子が、10歳を超えてから教科学習に必要な日本語も英語も不十分（ダブル・リミテッド）になる可能性に警鐘を発していたのです。今、日豪ともに、教育改革は道途中。大人の混乱とは別に、素直に頑張る子どもたちがいます。小・中・地域の垣根を越え、子どもたちが世界に羽ばたけるよう支援していきたいものです。

「昭和小学校の上空をタンチョウが飛んだ」



総社支部
河合　眞作

地域と５校園が一体で取り組んだ夢のような忘れがたい想い出です。

岡山県自然保護センターの「タンチョウの野外行動調査」が平成７年に吉備路で、12年から昭和小学校区内の中州で始まりました。

タンチョウが棲むにふさわしい中州にしようと地区あげてクリーン作戦を展開しました。

４月２日幼児、小中学生、教職員、婦人会、老人会、消防団員等大勢で竹藪や中州のゴミを拾いました。作業終了間近マイが卵を産んだという発表があり一同大歓声をあげました。

３日後に2個目が産まれ、５月には元気に２羽誕生しました。すくすく成長し８月飛ぶ練習が始まりました。高梁川の堤防に「鶴見の丘」が出現、地域の人が集まって４羽のタンチョウの生の飛行を楽しむようになりました。父鶴の合図で飛び立ち翼を力強く羽ばたいて飛ぶ様は優雅です。昭和小学校の上空を度々飛んでくれました。公募で子供達から名前を募集。昭和から「ショウ」、槻から「ツキ」と命名されました。全世界で千数百羽しかいない「国際保護鳥」なので名前は世界登録されました。小学生はトウモロコシを育て写生会や観察会、中学生は「チョボラ活動」でタンチョウとの絆を深めました。

タンチョウは長寿や幸福の象徴、結婚すると一生添い遂げる強い夫婦愛、美しく気品に満ちた姿で古来から愛されてきました。18年「総社市の鳥」に選定されました。北海道以外で自然のタンチョウが見られるのは岡山県だけ、まさに「天からのプレゼント」です。

調査終了で昭和の地から去りましたが11年間タンチョウが優雅に舞い立派に子を育て人々に喜びや幸せを、人々は環境整備に努め共存共栄の歴史を遺しました。天与の恵みの想い出として永く語り継がれるべき「昭和の誇り」です。



おかやま教育の日協賛事業・おかやま県民文化祭参加事業

第49回岡山県教職員美術展開催及び作品募集要項

1　趣　　旨　県下の教職員等から募集した作品を展示公開し、技術の向上と助長を図るとともに県民文化の振興に資することを目的とします。

2　主　　催　岡山県教育委員会・一般財団法人岡山県教育職員互助組合

3　会　　期　**令和６年11月５日（火）～11月10日（日）**
午前９時～午後５時（最終日：午後３時まで）

4　会　　場　**岡山県天神山文化プラザ　第１・第２展示室**



第48回岡山県教職員美術展
洋画部門「落日の風景」青葉 堅

5　規 格 等

区　分	規　格　等	添付用紙	申込時の注意事項
①日本画	10号以上50号以内（水墨画含む）	解説文	・上下の区別が分かるようにする ・仮額装を基本とする（縁の幅：マットを含め６㎝以内） ・軸装は不可とする ・画面保護の必要のある時は、アクリル板を使用（ガラス不可） ・**展示用にヒートン及び紐（ひも）を付ける**
②洋　画	10号以上50号以内		
③版　画	50号相当以内		
④彫　刻	縦200㎝×横200㎝×高200㎝以内 重量350kg以内		・前後左右、正面、上下の区分が分かるようにする ・作品完成イメージスケッチまたは写真を添付する
⑤写　真	全紙以内 （組写真連作は、100㎝×75㎝までのワク張り）		・上下の区別が分かるようにする ・パネル張りを基本とする（ワンタッチパネルを含む） ・作品と同じトリミング加工のＬ判を添付する（返却不可）
⑥工　芸	縦100㎝×横100㎝×高100㎝以内 重量200kg以内 ［陶芸、染織、漆芸、木竹工芸、金工、ガラスなどの工芸］		・破損の恐れのあるものは、受付けることができません ・前後左右、正面が分かるようにする ・作品完成イメージスケッチまたは写真を添付する
⑦書　道	小画仙紙～全紙以内（縦横自由） ［軸装、屏風、巻子は不可］	釈文用紙	・伝統書並びに現代書の額装とし、**展示用のひもを付ける** ・パネル装は、展示用ひもの取付け金具が突飛しないものに限る。 ・画面保護の必要のある時は、アクリル板を使用する（ガラス不可）

出品料	**無　料**
その他	**各部門ごとに１人２点以内とし、出品作品の審査は行わない。**

搬　入	日　時	**令和６年11月３日（日）　10：00～13：00まで（時間厳守）**
	場　所	**岡山県天神山文化プラザ　第１練習室（搬入搬出票をご持参ください）**
搬　出	日時等	**令和６年11月10日（日）　15：00～16：30まで（時間厳守）…各展示室** **令和６年11月11日（月）　９：00～11：00まで（時間厳守）…第１展示室**

6　参加資格　(一財)岡山県教育職員互助組合会員・準会員・特別会員・岡山県内の公立学校に勤務する教職員（非常勤講師含）及び招待者

7　申込期限　**令和６年９月13日（金）必着（申込期限後は受付けることができません）**
申込者へ10月上旬に「案内状」、「作品貼付用紙・搬入搬出票」、「釈文用紙」を送付します。

8　申 込 先　〒700-8570　岡山県教育庁福利課　退職互助班（所在地不要）
℡（086）226-7610（退職互助班直通）

9　その他注意事項おことわり
①申込期限後の受付け、並びに作品名の変更はできません。
②作品の題名は原則12文字以内とさせていただきます。
③本規格に違反する作品、破損の恐れがある作品は受付けることができません。
④申込書に作品作成についての解説文をご記入ください。解説文が不要な場合は「コメントなし」とご記入ください。
⑤出品申込書、解説、釈文等については、楷書で分かりやすくご記入ください。
⑥搬入、搬出は出品者の責任において行ってください。
⑦作品の取扱いには万全を期しますが、不慮の事故等による作品の損傷などについては責任を負うことができませんので、ご了承ください。

おかやま教育の日協賛事業・おかやま県民文化祭参加事業

第49回 岡山県教職員美術展申込書

資格	招待 ・ 一般

題名ふりがな			※ふりがなは事務局用です。展示作品票には記載されません。	
題　　名				
所属所名（所属コード）	（　　）	【所属所TEL】（　　）	－	
会員番号	現職者（組合員証番号）		退職者（特別会員番号）	
氏名ふりがな			雅号ふりがな	
氏　　名			雅　　号	
自宅住所	〒　　－　　住所			
連絡先電話番号	Tel　　（　　）			
図録以外への掲載について	出品作品は美術展の図録以外に次の広報誌等へ掲載させていただく場合があります。掲載についてお伺いしますので、いずれかに「○」印をお願いいたします。 私は、美術展図録の表紙・裏表紙、美術展ポスター・ハガキ、福利おかやま、退職互助会報、教育時報への掲載を意思表示のない場合は、掲載を承諾しないこととします。	◌ 承諾します。 ◌ 承諾しません。	サイズは額を含む	

部門・サイズ等							
① 日本画	縦型・横型（　　）号	縦　　cm×横	cm	※解説を記入			
② 洋　画	縦型・横型（　　）号	縦　　cm×横	cm	※解説を記入			
③ 版　画	縦型・横型（　　）号	縦　　cm×横	cm	※解説を記入			
④ 彫　刻	縦	cm×横　　cm×高	cm 重量	kg	※写真又はスケッチを添付 解説を記入		
⑤ 写　真	縦	cm×横　　cm			※L判を添付(返却不可) 解説を記入		
⑥ 工　芸	縦	cm×横　　cm×高	cm 重量	kg	※写真又はスケッチを添付 解説を記入		
⑦ 書　道	縦	cm×横　　cm	該当を○印 半切 ・ 縦型 ・ 横型 ・ パネル装		※釈文を記入		

解説文並びに釈文【書道の部は釈文、書道以外の部は作品作成についてのコメントを記入してください。】

＜注意事項＞

①申込み後の作品名の変更はできません。また作品の題名は、原則12文字以内とさせていただきます。

②写真部門は、図録掲載用の写真（L判）を添付してください。出品作品と同様にトリミングしたもので、裏面に作品の上下、作品名、氏名を明記してください。なお、写真はお返しできませんのでご了承ください。

③彫刻・工芸部門は、作品のイメージスケッチまたは写真を添付、作品の正面を記入してください。

④書道部門は、パネル装での申込みの場合、搬入・展示・写真撮影の際、他の作品を損傷しないよう展示用ひもの取付け金具にご注意ください。破損の恐れがある場合、搬入の際お持ち帰りいただくこともあります。

⑤出品料は　**無　料**　です。（出品者には図録１冊贈呈）

＜案内送付＞申込者へ10月上旬に「案内状」、「作品貼付用紙・搬入搬出票」、「釈文用紙」を送付します。

申込期限：令和6年9月13日（金）必着

※締切後の受付けはいたしません

「療養補助金」Q＆A

会員の皆さまから多くいただくご質問について掲載しています。

Q1　入院時の食事療養は請求対象になりますか？また、請求の対象になるか分からないない場合はどうすればよいですか？

A1　退職互助療養補助制度で対象となるのは、健康保険法の「療養の給付」としており、「入院時食事療養費・入院時生活療養費」に該当する食事療養費は対象外です。よくご質問いただく例を下記にまとめましたので参考にしてください。

　また、請求の対象になるか分からない場合は、事務局で審査しておりますので、判断に迷うものも請求書に記入しご提出ください。

請求✕	訪問介護（ホームヘルプ）・通所介護（デイサービス）等の介護サービス料金
請求✕	食事療養、室料
請求✕	予防接種
請求✕	人間ドックや健康診断
請求○	コルセット等の治療用装具　　※医師の装着証明書等が必要。

※療養補助金制度のご利用と、各自で加入されている民間の医療保険は重複可です。

Q2　領収書の提出は原本ではなく、コピーでもいいですか？

A2　はい、コピーでかまいません。領収書のコピーは、全体をコピーし、受診者名、受診日、領収額、医療機関名等がわかるようになっていることを確認のうえ、ご提出のほどお願いいたします。

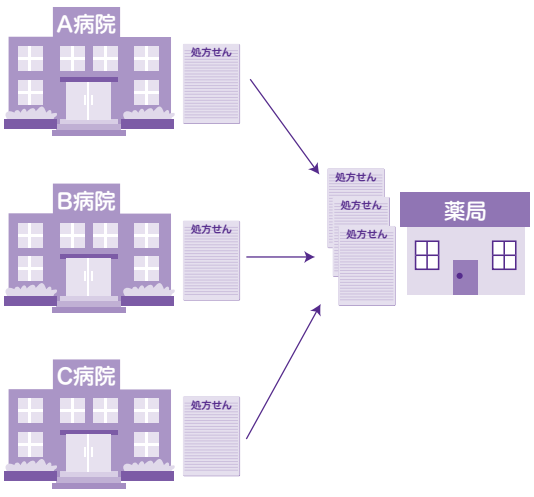
療養補助金請求書を書くのが楽になる“good（グッド）”な方法

好評企画 第２弾！

　令和５年７月25日発行No.142号で好評だったgood（グッド）な方法第２弾を紹介します。

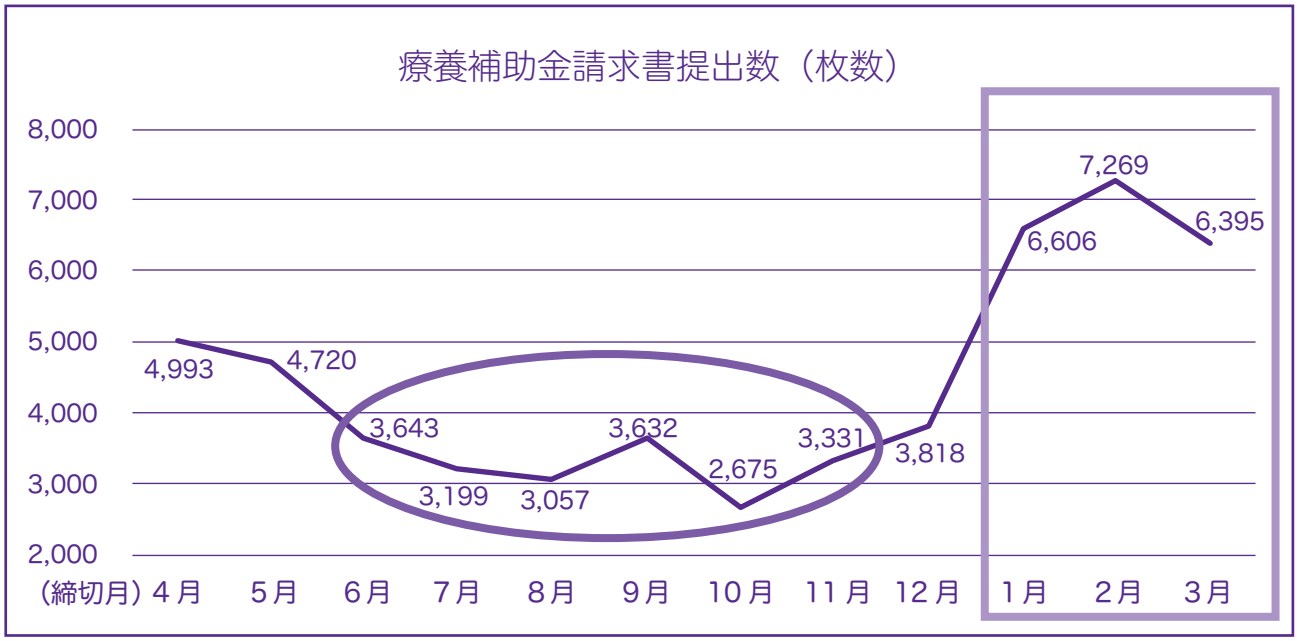
①　療養補助金請求書は、医療機関・調剤薬局名ごとに記入いただくことになりますが、複数の病院で出された処方箋も一つの薬局で支払いをすれば、薬局を１つに合算できます。

②　療養補助金請求書は、１か月分を１枚にまとめて記入していただきますが、複数月提出される場合は、まとめて一つの封筒に入れて送って下さい。複数月×複数名（ご家族で特別会員の方）の請求書も同封して提出いただくことも可能です。郵送料を抑え、手間も少し軽減されるかと思います。



療養補助金請求書提出時期のお願い

請求書の提出は６月～11 月にお願いします。



退職互助特別会員数増加等に伴い、療養補助金請求書の提出枚数は増加しており、令和５年度は53,000枚を超えました。その中でも１、２、３月に提出枚数が集中しており、審査スケジュールもかなり厳しくなっています。

ついては、確定申告される方でも可能な方は、できるだけ６月～11月の比較的提出件数が少ない時期に提出をお願いいたします。

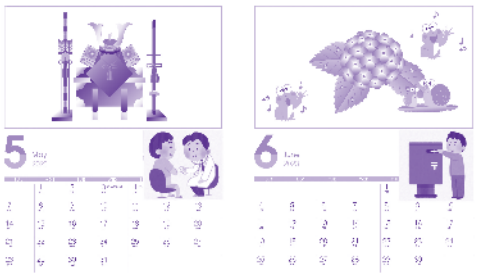
円滑な審査にご協力をよろしくお願いいたします。



請求書は必ず診療月の翌月以降にご提出ください。

療養補助金の請求は必ず診療月の**翌月以降**に提出していただくようお願いしております。後から追加提出されると、提出済みの領収書の再確認作業等が発生し審査確認に非常に時間がかかり、全体のスケジュールに遅れが生じてしまいます。請求書を提出される前に必ず、「診療月の翌月以降であること」、「提出漏れがないこと」を確認し、ご提出ください。

例：月の下旬にもう病院には行かないだろうと療養補助金請求書を提出したが、急に体調を崩し病院に行くことになってしまったので追加で提出することになった。



事　務　局　だ　よ　り

◇陳情署名にご協力ください！

「全ての世代が安心して暮らせる持続可能な社会保障制度の確立と教職員が教育に専念できる環境整備を求める陳情」につきまして、署名のご協力をお願いします。送付いただいた署名簿を携えて岡山県選出の国会議員へ陳情する予定です。

署名欄をすべて埋めていただく必要はありません。会員ご本人様１筆分の署名でも構いませんので、10月４日（金）までに退職互助班へ送付してください。署名用紙が必要な場合は、退職互助班へご連絡ください。ホームページからもダウンロード出来ます。

◇住所変更等の連絡について

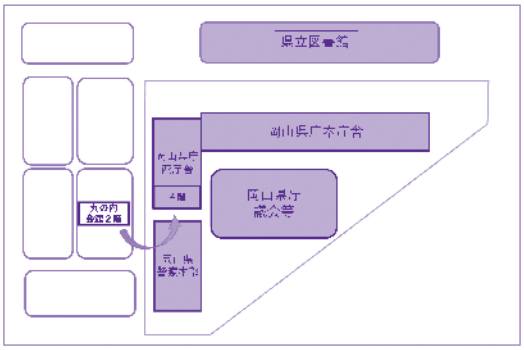
次の項目に該当する場合は、４月末送付時に同封しております「特別会員異動届」を事務局までご提出ください。

・転居された場合　・住居表示の変更があった場合　・電話番号を変更された場合
・改姓された場合　・給付金登録口座を変更されたい場合

◇執務室の移転について（再掲）

岡山県庁の建替工事等に伴い、移転しておりました県教育庁福利課、公立学校共済組合岡山支部及び当互助組合ですが、令和５年12月18日（月）より、岡山県庁西隣のビル（丸の内会館２階）より、岡山県庁西庁舎４階に戻っています。今後の郵送物及び来庁は下記所在地へお願いいたします。

所在地：700-8570
岡山市北区内山下２−４−６
岡山県庁西庁舎４階　岡山県教育庁福利課内
※郵便番号及び電話番号の変更はありません



◇優待施設に関するお知らせ

令和６年度より「おもちゃ王国」での優待（利用料金の100円割引（入園券・フリーパスセット券が対象）※提示４名まで）はご利用いただけなくなりました。

編集後記

先日、十二支の生物にはそれぞれ意味を持つことを初めて知りました。自分の不勉強さを感じつつも、今年の十二支の意味に興味を持ち調べてみました。2024年は「辰」年。諸説ありますが「辰」とは、「振るう」という文字に由来しており、草木の芽吹きや成長、生命力や活力の象徴とされています。また、積極性や行動力、変革や革新といった、新しい物事への始まりも意味するようです。（なぜ十二支の中に空想上の生き物がいるのだろうという疑問も解消しましたが、敢えて書きませんので興味がある方は是非調べてみてください）。辰年の象徴、新しい物事への始まりもこの会報がお手元に届くのは、７月末ごろで、１年の後半戦に突入。でも、新しいことを始めることに遅すぎることはないかもしれません。

